

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																																																																
現	行	改 正	現 行																																																																																																																																																																																
	<p>(5) 型枠工（覆工コンクリート）</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452051</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>内空形状</td> <td>スライドセントルの規格</td> <td>設計掘削断面の上半周長</td> <td>スライドセントル損料対象長</td> </tr> <tr> <td>①標準（五心円） ② 各 種</td> <td>① 本 坑 用 ②非常駐車帯用</td> <td>(m) (実数入力)</td> <td>(m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、スライドセントル損料Y-1472107 (円/㎡・現場)を単価登録すること。 なお、J 3～4条件を入力する必要はない。 2. J 3及びJ 4条件は、実数値 (m) (小数第2位四捨五入、小数第1位止)を入力すること。</p> <p>(6) 防水工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452060</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="4">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>支保構造区分</td> <td>岩区分</td> <td>設計掘削断面積</td> <td>設計掘削断面の上半周長</td> <td>防水作業台車損料対象長</td> </tr> <tr> <td>①通常断面 ② 大 断 面</td> <td>(表 6.1)</td> <td>(表 6.3)</td> <td>(m) (実数入力)</td> <td>(m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 3条件は⑨～⑯から選択すること。 2. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①～④を選択した場合は、J 3条件は⑰～⑳から選択すること。 なお、J 2条件で⑤を選択した場合は、J 3条件は⑲～㉑から選択すること。 3. J 4及びJ 5条件は、実数値 (m) (小数第2位四捨五入、小数第1位止)を入力すること。</p> <p>表6.1 岩区分</p> <table border="1"> <tr> <th>規 格</th> <th>入 力 番 号</th> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>D III</td> <td>⑤</td> </tr> </table> <p>表6.2 加背区分</p> <table border="1"> <tr> <th>規 格</th> <th>入 力 番 号</th> </tr> <tr> <td>全断面</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>上半</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>下半</td> <td>③</td> </tr> </table> <p>表6.3 設計掘削断面積</p> <table border="1"> <tr> <td>設計掘削断面積 (㎡)</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>45</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>入 力 番 号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>設計掘削断面積 (㎡)</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> <td>80</td> <td>85</td> <td>90</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>入 力 番 号</td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> <td>⑬</td> <td>⑭</td> <td>⑮</td> <td>⑯</td> <td>⑰</td> <td>⑱</td> </tr> <tr> <td>設計掘削断面積 (㎡)</td> <td>100</td> <td>105</td> <td>110</td> <td>115</td> <td>120</td> <td>125</td> <td>130</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>入 力 番 号</td> <td>⑲</td> <td>⑳</td> <td>㉑</td> <td>㉒</td> <td>㉓</td> <td>㉔</td> <td>㉕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工歩掛コード	WB452051	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	各 種	内空形状	スライドセントルの規格	設計掘削断面の上半周長	スライドセントル損料対象長	①標準（五心円） ② 各 種	① 本 坑 用 ②非常駐車帯用	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)	施工歩掛コード	WB452060	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件				種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	各 種	支保構造区分	岩区分	設計掘削断面積	設計掘削断面の上半周長	防水作業台車損料対象長	①通常断面 ② 大 断 面	(表 6.1)	(表 6.3)	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)	規 格	入 力 番 号	C I	①	C II	②	D I	③	D II	④	D III	⑤	規 格	入 力 番 号	全断面	①	上半	②	下半	③	設計掘削断面積 (㎡)	10	15	20	25	30	35	40	45	50	入 力 番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	設計掘削断面積 (㎡)	55	60	65	70	75	80	85	90	95	入 力 番 号	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	設計掘削断面積 (㎡)	100	105	110	115	120	125	130			入 力 番 号	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕			<p>(5) 型枠工（覆工コンクリート）</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452051</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>内空形状</td> <td>スライドセントルの規格</td> <td>内空断面の上半周長</td> <td>スライドセントル損料対象長</td> </tr> <tr> <td>①標準（五心円） ② 各 種</td> <td>① 本 坑 用 ②非常駐車帯用</td> <td>(m) (実数入力)</td> <td>(m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、スライドセントル損料Y-1472107 (円/㎡・現場)を単価登録すること。 なお、J 3～4条件を入力する必要はない。 2. J 3及びJ 4条件は、実数値 (m) (小数第2位四捨五入、小数第1位止)を入力すること。</p> <p>(6) 防水工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452060</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="4">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>支保構造区分</td> <td>岩区分</td> <td>設計掘削断面積</td> <td>内空断面の上半周長</td> <td>防水作業台車損料対象長</td> </tr> <tr> <td>①通常断面 ② 大 断 面</td> <td>(表 6.1)</td> <td>(表 6.3)</td> <td>(m) (実数入力)</td> <td>(m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 3条件は⑨～⑱から選択すること。 2. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①～④を選択した場合は、J 3条件は⑲～㉑から選択すること。 なお、J 2条件で⑤を選択した場合は、J 3条件は⑲～㉑から選択すること。 3. J 4及びJ 5条件は、実数値 (m) (小数第2位四捨五入、小数第1位止)を入力すること。</p> <p>現行どおり</p>	施工歩掛コード	WB452051	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	各 種	内空形状	スライドセントルの規格	内空断面の上半周長	スライドセントル損料対象長	①標準（五心円） ② 各 種	① 本 坑 用 ②非常駐車帯用	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)	施工歩掛コード	WB452060	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件				種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	各 種	支保構造区分	岩区分	設計掘削断面積	内空断面の上半周長	防水作業台車損料対象長	①通常断面 ② 大 断 面	(表 6.1)	(表 6.3)	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)	記載の修正
施工歩掛コード	WB452051	施工単位	m																																																																																																																																																																																
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																		
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																																																																																																															
各 種	内空形状	スライドセントルの規格	設計掘削断面の上半周長	スライドセントル損料対象長																																																																																																																																																																															
	①標準（五心円） ② 各 種	① 本 坑 用 ②非常駐車帯用	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)																																																																																																																																																																															
施工歩掛コード	WB452060	施工単位	m																																																																																																																																																																																
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																		
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																																																														
各 種	支保構造区分	岩区分	設計掘削断面積	設計掘削断面の上半周長	防水作業台車損料対象長																																																																																																																																																																														
	①通常断面 ② 大 断 面	(表 6.1)	(表 6.3)	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)																																																																																																																																																																														
規 格	入 力 番 号																																																																																																																																																																																		
C I	①																																																																																																																																																																																		
C II	②																																																																																																																																																																																		
D I	③																																																																																																																																																																																		
D II	④																																																																																																																																																																																		
D III	⑤																																																																																																																																																																																		
規 格	入 力 番 号																																																																																																																																																																																		
全断面	①																																																																																																																																																																																		
上半	②																																																																																																																																																																																		
下半	③																																																																																																																																																																																		
設計掘削断面積 (㎡)	10	15	20	25	30	35	40	45	50																																																																																																																																																																										
入 力 番 号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨																																																																																																																																																																										
設計掘削断面積 (㎡)	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																																																										
入 力 番 号	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱																																																																																																																																																																										
設計掘削断面積 (㎡)	100	105	110	115	120	125	130																																																																																																																																																																												
入 力 番 号	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕																																																																																																																																																																												
施工歩掛コード	WB452051	施工単位	m																																																																																																																																																																																
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																		
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																																																																																																															
各 種	内空形状	スライドセントルの規格	内空断面の上半周長	スライドセントル損料対象長																																																																																																																																																																															
	①標準（五心円） ② 各 種	① 本 坑 用 ②非常駐車帯用	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)																																																																																																																																																																															
施工歩掛コード	WB452060	施工単位	m																																																																																																																																																																																
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																		
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																																																														
各 種	支保構造区分	岩区分	設計掘削断面積	内空断面の上半周長	防水作業台車損料対象長																																																																																																																																																																														
	①通常断面 ② 大 断 面	(表 6.1)	(表 6.3)	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)																																																																																																																																																																														
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																																																																																																

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																														
現	行	改 正	現 行																																																																																																																																														
<p>(5) 型枠工 (覆工コンクリート)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452050</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>内空形状</td> <td>スライドセントルの規格</td> <td>設計掘削断面の上半周長</td> <td>スライドセントル損料対象長</td> </tr> <tr> <td>①標準 (五心円) ②各 種</td> <td>① 本 坑 用 ②非常駐車帯用</td> <td>(m) (実数入力)</td> <td>(m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、スライドセントル損料Y-1472107 (円/m・現場) を単価登録すること。 なお、J 3～4条件を入力する必要はない。 2. J 3及びJ 4条件は、実数値 (m) (小数第2位四捨五入、小数第1位止) を入力すること。</p> <p>(6) 防水工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452150</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>支保構造区分</td> <td>岩区分</td> <td>設計掘削断面積</td> <td>設計掘削断面の上半周長</td> <td>防水作業台車損料対象長</td> </tr> <tr> <td>①通常断面 ②大断面</td> <td>(表 6.1)</td> <td>(表6.3)</td> <td>(m) (実数入力)</td> <td>(m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 3条件は⑨～⑯から選択すること。 2. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①～④を選択した場合は、J 3条件は⑩～⑱から選択すること。 なお、J 2条件で⑤を選択した場合は、J 3条件は⑬～⑳から選択すること。 3. J 4及びJ 5条件は、実数値 (m) (小数第2位四捨五入、小数第1位止) を入力すること。</p> <p>表6.1 岩区分</p> <table border="1"> <tr> <th>規 格</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>C I</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>C II</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>D I</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>D II</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>D III</td> <td>⑤</td> </tr> </table> <p>表6.2 加荷区分</p> <table border="1"> <tr> <th>加 荷</th> <th>入力番号</th> </tr> <tr> <td>上 半</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>下 半</td> <td>②</td> </tr> </table> <p>表6.3 設計掘削断面積</p> <table border="1"> <tr> <th>設計掘削断面積 (㎡)</th> <th>10</th> <th>15</th> <th>20</th> <th>25</th> <th>30</th> <th>35</th> <th>40</th> <th>45</th> <th>50</th> </tr> <tr> <td>入力番号</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <th>設計掘削断面積 (㎡)</th> <td>55</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>75</td> <td>80</td> <td>85</td> <td>90</td> <td>95</td> </tr> </table>		施工歩掛コード	WB452050	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	各 種	内空形状	スライドセントルの規格	設計掘削断面の上半周長	スライドセントル損料対象長	①標準 (五心円) ②各 種	① 本 坑 用 ②非常駐車帯用	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)	施工歩掛コード	WB452150	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	各 種	支保構造区分	岩区分	設計掘削断面積	設計掘削断面の上半周長	防水作業台車損料対象長	①通常断面 ②大断面	(表 6.1)	(表6.3)	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)	規 格	入力番号	C I	①	C II	②	D I	③	D II	④	D III	⑤	加 荷	入力番号	上 半	①	下 半	②	設計掘削断面積 (㎡)	10	15	20	25	30	35	40	45	50	入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	設計掘削断面積 (㎡)	55	60	65	70	75	80	85	90	95	<p>(5) 型枠工 (覆工コンクリート)</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452050</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>内空形状</td> <td>スライドセントルの規格</td> <td>内空断面の上半周長</td> <td>スライドセントル損料対象長</td> </tr> <tr> <td>①標準 (五心円) ②各 種</td> <td>① 本 坑 用 ②非常駐車帯用</td> <td>(m) (実数入力)</td> <td>(m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で②を選択した場合は、スライドセントル損料Y-1472107 (円/m・現場) を単価登録すること。 なお、J 3～4条件を入力する必要はない。 2. J 3及びJ 4条件は、実数値 (m) (小数第2位四捨五入、小数第1位止) を入力すること。</p> <p>(6) 防水工</p> <table border="1"> <tr> <td>施工歩掛コード</td> <td>WB452150</td> <td>施工単位</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>施工区分</td> <td colspan="3">入 力 条 件</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>J 1</td> <td>J 2</td> <td>J 3</td> <td>J 4</td> <td>J 5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">各 種</td> <td>支保構造区分</td> <td>岩区分</td> <td>設計掘削断面積</td> <td>内空断面の上半周長</td> <td>防水作業台車損料対象長</td> </tr> <tr> <td>①通常断面 ②大断面</td> <td>(表 6.1)</td> <td>(表6.3)</td> <td>(m) (実数入力)</td> <td>(m) (実数入力)</td> </tr> </table> <p>(注) 1. J 1条件で①を選択した場合は、J 3条件は⑨～⑯から選択すること。 2. J 1条件で②を選択し、J 2条件で①～④を選択した場合は、J 3条件は⑩～⑱から選択すること。 なお、J 2条件で⑤を選択した場合は、J 3条件は⑬～⑳から選択すること。 3. J 4及びJ 5条件は、実数値 (m) (小数第2位四捨五入、小数第1位止) を入力すること。</p> <p>現行どおり</p>	施工歩掛コード	WB452050	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	各 種	内空形状	スライドセントルの規格	内空断面の上半周長	スライドセントル損料対象長	①標準 (五心円) ②各 種	① 本 坑 用 ②非常駐車帯用	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)	施工歩掛コード	WB452150	施工単位	m	施工区分	入 力 条 件			種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	各 種	支保構造区分	岩区分	設計掘削断面積	内空断面の上半周長	防水作業台車損料対象長	①通常断面 ②大断面	(表 6.1)	(表6.3)	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)	記載の修正
施工歩掛コード	WB452050	施工単位	m																																																																																																																																														
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																																																																													
各 種	内空形状	スライドセントルの規格	設計掘削断面の上半周長	スライドセントル損料対象長																																																																																																																																													
	①標準 (五心円) ②各 種	① 本 坑 用 ②非常駐車帯用	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)																																																																																																																																													
施工歩掛コード	WB452150	施工単位	m																																																																																																																																														
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																												
各 種	支保構造区分	岩区分	設計掘削断面積	設計掘削断面の上半周長	防水作業台車損料対象長																																																																																																																																												
	①通常断面 ②大断面	(表 6.1)	(表6.3)	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)																																																																																																																																												
規 格	入力番号																																																																																																																																																
C I	①																																																																																																																																																
C II	②																																																																																																																																																
D I	③																																																																																																																																																
D II	④																																																																																																																																																
D III	⑤																																																																																																																																																
加 荷	入力番号																																																																																																																																																
上 半	①																																																																																																																																																
下 半	②																																																																																																																																																
設計掘削断面積 (㎡)	10	15	20	25	30	35	40	45	50																																																																																																																																								
入力番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨																																																																																																																																								
設計掘削断面積 (㎡)	55	60	65	70	75	80	85	90	95																																																																																																																																								
施工歩掛コード	WB452050	施工単位	m																																																																																																																																														
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4																																																																																																																																													
各 種	内空形状	スライドセントルの規格	内空断面の上半周長	スライドセントル損料対象長																																																																																																																																													
	①標準 (五心円) ②各 種	① 本 坑 用 ②非常駐車帯用	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)																																																																																																																																													
施工歩掛コード	WB452150	施工単位	m																																																																																																																																														
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																
種 別	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																												
各 種	支保構造区分	岩区分	設計掘削断面積	内空断面の上半周長	防水作業台車損料対象長																																																																																																																																												
	①通常断面 ②大断面	(表 6.1)	(表6.3)	(m) (実数入力)	(m) (実数入力)																																																																																																																																												
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																																																														

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

13. 機種 の 選 定

PC橋片持架設工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

表 13. 1 機種 の 選 定 (1工事当り)

作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要	損 料 額 (円/供用日)
柱頭部仮支承工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		台			コンクリート工を含む	2,100
	コンクリートブレーカ		”	1	D		
	空気圧縮機		”	1	D		
P C 鋼 棒 解 放 工	緊張ジャッキ・ポンプ		”			P C工を含む	—
作業車据付・解体工	片持架設用移動作業車		”	1	B	改造費は別途 持込み台数分計上	57,100
	場所打桁架設工具		式	1	C		8,600
作業車クライミング工	チェーンブロック	5 t 吊	台	1	B		199
型 枠 工	電気丸のこ		”	1	A		231
	電気ドリル		”	1	A		
鉄 筋 工	鉄筋切断機	1.5kW	”	1	A		3,810
	鉄筋曲げ機	2.2kW	”	1	A		
	鉄筋加工台		”	1	A		
	ガス切断機		”	1	A		
	電気溶接機		”	1	A		
コンクリート工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		”	6	A		1,790
	高圧洗浄機	3.7kW	”	1	A		
P C 工	緊張ジャッキ・ポンプ		”	(注)2	A'		別途
	グラウトミキサ・ポンプ		”	”	A'		5,370
	ウインチ		”	1	A'		
全 体	発動発電機	37/45kVA	”	1	A	発動発電機使用の場合	2,890

(注) 1. 商用電源を使用せず発動発電機を使用する場合は、発動発電機を計上する。
2. 緊張ジャッキ・ポンプの数量については13-1による。

IV-7-⑩-17

13. 機種 の 選 定

PC橋片持架設工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

表 13. 1 機種 の 選 定 (1工事当り)

作業種別	機 械 名	規 格	単 位	数 量	供 用 日 数	摘 要	損 料 額 (円/供用日)
柱頭部仮支承工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		台	—	—	コンクリート工を含む	2,100
	コンクリートブレーカ		”	1	D		
	空気圧縮機		”	1	D		
P C 鋼 棒 解 放 工	緊張ジャッキ・ポンプ		”	—	—	P C工を含む	—
作業車据付・解体工	片持架設用移動作業車		式	1	B	改造費は別途 持込み台数分計上	57,100
	場所打桁架設工具		”	1	C		8,600
作業車クライミング工	チェーンブロック	5 t 吊	”	1	B		199
型 枠 工	電気丸のこ		台	1	A		231
	電気ドリル		”	1	A		
鉄 筋 工	鉄筋切断機	1.5kW	”	1	A		3,810
	鉄筋曲げ機	2.2kW	”	1	A		
	鉄筋加工台		”	1	A		
	ガス切断機		”	1	A		
	電気溶接機		”	1	A		
コンクリート工	コンクリートパイプレータ (肩掛け(軽便))		”	6	A		1,790
	高圧洗浄機	3.7kW	”	1	A		
P C 工	緊張ジャッキ・ポンプ		”	(注)2	A'		別途
	グラウトミキサ・ポンプ ・ウインチ		組	(注)2	A'		5,370
	全 体	発動発電機	37/45kVA	台	1	A	発動発電機使用の場合

(注) 1. 上表は、PC橋片持架設工における1工事当り(作業車2台同時施工時)に使用する機種・数量を示しており、各機種の供用日数は、「13-2」により算定し、計上するものとする。
商用電源を使用せず発動発電機を使用する場合は、発動発電機を計上する。
2. P C工の数量については、「13-1」による。

記載の修正

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現行	備 考																																																																																																																																
	現 行	改 正	備 考																																																																																																																																
	<p>13-1 PC工における緊張ジャッキ、緊張ポンプ、グラウトミキサ、グラウトポンプの台数は下表を標準とする。</p> <p>1) 使用するケーブルシステムがバーシステムの場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>同時に施工する作業車の台数</th> <th>使用するPC鋼材の種類</th> <th>ジャッキの種類</th> <th>ジャッキポンプの台数</th> <th>グラウトミキサ・ポンプの組数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td>φ 26(1B26A, 1B26B) のみ</td> <td>50 t</td> <td>4</td> <td rowspan="4">1</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) のみ</td> <td>70 t</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>50 t</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>70 t</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td>φ 26(1B26A, 1B26B) のみ</td> <td>50 t</td> <td>6</td> <td rowspan="4">2</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) のみ</td> <td>70 t</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>50 t</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>70 t</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) グラウトポンプ・ミキサ1組当りの内訳は、ポンプ2台とミキサ1台である。</p> <p>2) 各種ケーブルシステム混用の場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">同時に施工する作業車の台数</th> <th rowspan="2">使用するPC鋼材の種類数</th> <th colspan="2">ジャッキ・ポンプの台数</th> <th rowspan="2">グラウトミキサ・ポンプの組数</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="2">2</td> <td>縦</td> <td>2</td> <td rowspan="4">1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>縦</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td rowspan="2">2</td> <td>縦</td> <td>4</td> <td rowspan="4">2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>縦</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) グラウトポンプ・ミキサ1組当りの内訳は、ポンプ2台とミキサ1台である。</p>	同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキの種類	ジャッキポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプの組数	2	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	4	1	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	4	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	2	φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	70 t	3	4	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	6	2	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	6	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	3	φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	70 t	4	同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類数	ジャッキ・ポンプの台数		グラウトミキサ・ポンプの組数	縦	横	2	2	縦	2	1	横	1	3	縦	2	横	1	4	2	縦	4	2	横	2	3	縦	4	横	2	<p>13-1 PC工における緊張ジャッキ、緊張ポンプ、グラウトミキサ、グラウトポンプ、ウインチの台数は下表を標準とする。</p> <p>1) 使用するケーブルシステムがバーシステムの場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>同時に施工する作業車の台数</th> <th>使用するPC鋼材の種類</th> <th>ジャッキの種類</th> <th>ジャッキポンプの台数</th> <th>グラウトミキサ・ポンプ・ウインチの組数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td>φ 26(1B26A, 1B26B) のみ</td> <td>50 t</td> <td>4</td> <td rowspan="4">1</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) のみ</td> <td>70 t</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>50 t</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>70 t</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td>φ 26(1B26A, 1B26B) のみ</td> <td>50 t</td> <td>6</td> <td rowspan="4">2</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) のみ</td> <td>70 t</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>50 t</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>φ 32(1B32A, 1B32B) 混用</td> <td>70 t</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) グラウトポンプ・ミキサ・ウインチ1組当りの内訳は、ポンプ2台とミキサ1台、ウインチ1台である。</p> <p>2) 各種ケーブルシステム混用の場合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">同時に施工する作業車の台数</th> <th rowspan="2">使用するPC鋼材の種類数</th> <th colspan="2">ジャッキ・ポンプの台数</th> <th rowspan="2">グラウトミキサ・ポンプ・ウインチの組数</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2</td> <td rowspan="2">2</td> <td>縦</td> <td>2</td> <td rowspan="4">1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>縦</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">4</td> <td rowspan="2">2</td> <td>縦</td> <td>4</td> <td rowspan="4">2</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td>縦</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) グラウトポンプ・ミキサ・ウインチ1組当りの内訳は、ポンプ2台とミキサ1台、ウインチ1台である。</p>	同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキの種類	ジャッキポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプ・ ウインチ の組数	2	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	4	1	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	4	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	2	φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	70 t	3	4	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	6	2	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	6	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	3	φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	70 t	4	同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類数	ジャッキ・ポンプの台数		グラウトミキサ・ポンプ・ ウインチ の組数	縦	横	2	2	縦	2	1	横	1	3	縦	2	横	1	4	2	縦	4	2	横	2	3	縦	4	横	2	記載の修正
同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキの種類	ジャッキポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプの組数																																																																																																																															
2	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	4	1																																																																																																																															
	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	4																																																																																																																																
	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	2																																																																																																																																
	φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	70 t	3																																																																																																																																
4	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	6	2																																																																																																																															
	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	6																																																																																																																																
	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	3																																																																																																																																
	φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	70 t	4																																																																																																																																
同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類数	ジャッキ・ポンプの台数		グラウトミキサ・ポンプの組数																																																																																																																															
		縦	横																																																																																																																																
2	2	縦	2	1																																																																																																																															
		横	1																																																																																																																																
	3	縦	2																																																																																																																																
		横	1																																																																																																																																
4	2	縦	4	2																																																																																																																															
		横	2																																																																																																																																
	3	縦	4																																																																																																																																
		横	2																																																																																																																																
同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類	ジャッキの種類	ジャッキポンプの台数	グラウトミキサ・ポンプ・ ウインチ の組数																																																																																																																															
2	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	4	1																																																																																																																															
	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	4																																																																																																																																
	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	2																																																																																																																																
	φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	70 t	3																																																																																																																																
4	φ 26(1B26A, 1B26B) のみ	50 t	6	2																																																																																																																															
	φ 32(1B32A, 1B32B) のみ	70 t	6																																																																																																																																
	φ 26(1B26A, 1B26B), φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	50 t	3																																																																																																																																
	φ 32(1B32A, 1B32B) 混用	70 t	4																																																																																																																																
同時に施工する作業車の台数	使用するPC鋼材の種類数	ジャッキ・ポンプの台数		グラウトミキサ・ポンプ・ ウインチ の組数																																																																																																																															
		縦	横																																																																																																																																
2	2	縦	2	1																																																																																																																															
		横	1																																																																																																																																
	3	縦	2																																																																																																																																
		横	1																																																																																																																																
4	2	縦	4	2																																																																																																																															
		横	2																																																																																																																																
	3	縦	4																																																																																																																																
		横	2																																																																																																																																
IV-7-⑩-18																																																																																																																																			
積算上の注意事項			(控え頁) 2/5																																																																																																																																

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																									
	現 行	改 正	備 考																																																									
	<p>13-2 供用日数</p> <p>A: 主桁製作用雑器具 供用日数=最初柱頭部施工日数+$\frac{B}{\text{片持架設用移動作業車台数}}$+最終側径間部施工日数+最終中央閉合部施工日数</p> <p>A': PC工用機器 供用日数=最初柱頭部施工日数(23日)+$\frac{B}{\text{片持架設用移動作業車台数}}$+最終側径間部施工日数+最終中央閉合部施工日数</p> <p>B: 片持架設用移動作業車延供用日数=52×P+1ブロック当り施工日数×n+S (必要な場合計上) P: 橋脚数 n: 総施工ブロック数 S: 片持架設用移動作業車引戻日数=n×0.18 (小数点以下切上げ)</p> <p>計算例 A': PC工用機器 供用日数=23日+263日/2台+54日+37日 =245.5日 ≈246日</p> <p>B: 片持架設用移動作業車延供用日数 供用日数=52×1橋脚+13日×16ブロック+(16ブロック×0.18) =262.9日 ≈263日</p> <p>C: 場所打桁架設工具供用日数=片持架設用移動作業車据付・解体日数+1×移動回数 D: 仮支承撤去日数 また、各工程標準施工日数は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱頭部施工</td> <td>101 (23)</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車据付・解体</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>1ブロック当り施工</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">側径間部施工</td> <td>L ≤ 10</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>10 < L ≤ 20</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>20 < L ≤ 30</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>中央閉合部施工</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>仮支承撤去</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. 緊張ジャッキ・ポンプ、グラウトミキサ、グラウトポンプ、ウインチについて、柱頭部施工日数は()内の日数とする。 2. 柱頭部の施工延長は12mを標準とする。</p> <p style="text-align: center;">IV-7-⑩-19</p>	作業種別	日数	柱頭部施工	101 (23)	片持架設用移動作業車据付・解体	19	1ブロック当り施工	7	側径間部施工	L ≤ 10	13	10 < L ≤ 20	54	20 < L ≤ 30	72	中央閉合部施工	90	仮支承撤去	37		12	<p>13-2 供用日数</p> <p>A: 主桁製作用雑器具 供用日数=最初柱頭部施工日数+$\frac{B}{\text{片持架設用移動作業車台数}}$+最終側径間部施工日数+最終中央閉合部施工日数</p> <p>A': PC工用機器 供用日数=最初柱頭部施工日数(23日)+$\frac{B}{\text{片持架設用移動作業車台数}}$+最終側径間部施工日数+最終中央閉合部施工日数</p> <p>B: 片持架設用移動作業車延供用日数=52×P+1ブロック当り施工日数×n+S (必要な場合計上) P: 橋脚数 n: 総施工ブロック数 S: 片持架設用移動作業車引戻日数=n×0.18 (小数点以下切上げ)</p> <p>計算例 A': PC工用機器 供用日数=23日+263日/2台+54日+37日 =245.5日 ≈246日</p> <p>B: 片持架設用移動作業車延供用日数 供用日数=52×1橋脚+13日×16ブロック+(16ブロック×0.18) =262.9日 ≈263日</p> <p>C: 場所打桁架設工具供用日数=片持架設用移動作業車据付・解体日数+1×移動回数 D: 仮支承撤去日数 また、各工程標準施工日数は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">作業種別</th> <th colspan="2">施工日数</th> </tr> <tr> <th>作業車2台で同時施工する場合</th> <th>作業車4台で同時施工する場合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱頭部施工</td> <td>101 (23)</td> <td>202 (23)</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車据付・解体</td> <td>19</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>1ブロック当り施工</td> <td>7</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">側径間部施工</td> <td>L ≤ 10</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>10 < L ≤ 20</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>20 < L ≤ 30</td> <td>72</td> </tr> <tr> <td>中央閉合部施工</td> <td>90</td> <td>108 (54)</td> </tr> <tr> <td>仮支承撤去</td> <td>37</td> <td>144 (72)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12</td> <td>180 (90)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>37</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. PC工用機器(緊張ジャッキ・ポンプ、グラウトミキサ、グラウトポンプ、ウインチ)について、柱頭部工及び側径間部の日数は()内の日数とする。 2. 柱頭部の施工延長は12mを標準とする。</p>	作業種別	施工日数		作業車2台で同時施工する場合	作業車4台で同時施工する場合	柱頭部施工	101 (23)	202 (23)	片持架設用移動作業車据付・解体	19	38	1ブロック当り施工	7	14	側径間部施工	L ≤ 10	13	10 < L ≤ 20	54	20 < L ≤ 30	72	中央閉合部施工	90	108 (54)	仮支承撤去	37	144 (72)		12	180 (90)		37			12		記載の修正
作業種別	日数																																																											
柱頭部施工	101 (23)																																																											
片持架設用移動作業車据付・解体	19																																																											
1ブロック当り施工	7																																																											
側径間部施工	L ≤ 10	13																																																										
	10 < L ≤ 20	54																																																										
	20 < L ≤ 30	72																																																										
中央閉合部施工	90																																																											
仮支承撤去	37																																																											
	12																																																											
作業種別	施工日数																																																											
	作業車2台で同時施工する場合	作業車4台で同時施工する場合																																																										
柱頭部施工	101 (23)	202 (23)																																																										
片持架設用移動作業車据付・解体	19	38																																																										
1ブロック当り施工	7	14																																																										
側径間部施工	L ≤ 10	13																																																										
	10 < L ≤ 20	54																																																										
	20 < L ≤ 30	72																																																										
中央閉合部施工	90	108 (54)																																																										
仮支承撤去	37	144 (72)																																																										
	12	180 (90)																																																										
	37																																																											
	12																																																											
積算上の注意事項			(控え頁) 3/5																																																									

工 種	PC橋片持架設工
-----	----------

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																	
	現 行	改 正																																																																																																																																																		
	<p>(30) 機械器具損料 1工事当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2" style="text-align: center;">施工歩掛コード</th> <th style="text-align: center;">WB472390</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートブレーカ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">日</td> <td></td> <td>表 13.1</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車 改 造 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">台</td> <td>持込み台数</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>場所打桁架設工具</td> <td></td> <td style="text-align: center;">日</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>チェーンブロック</td> <td>5t吊</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>主桁製作用雑器具</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ・ポンプ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>ウ イ ン チ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>" 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td>1</td> <td>13-3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			施工歩掛コード		WB472390	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	コンクリートブレーカ		日		表 13.1	空 気 圧 縮 機		"		"	片持架設用移動作業車		"		"	片持架設用移動作業車 改 造 費		台	持込み台数	"	場所打桁架設工具		日		"	チェーンブロック	5t吊	"		"	主桁製作用雑器具		"		"	緊張ジャッキ・ポンプ		"		"	グラウトミキサ・ポンプ		"		"	ウ イ ン チ		"		"	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA	"		" 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	13-3	計					<p>(30) 機械器具損料 1工事当り単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2" style="text-align: center;">施工歩掛コード</th> <th style="text-align: center;">WB472390</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">名 称</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">数 量</th> <th style="text-align: center;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートブレーカ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">日</td> <td></td> <td>表 13.1</td> </tr> <tr> <td>空 気 圧 縮 機</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>片持架設用移動作業車 改 造 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">台</td> <td>持込み台数</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>場所打桁架設工具</td> <td></td> <td style="text-align: center;">日</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>チェーンブロック</td> <td>5t吊</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>主桁製作用雑器具</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>緊張ジャッキ・ポンプ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ</td> <td></td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>発 動 発 電 機</td> <td>排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td></td> <td>" 必要に応じて計上</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td style="text-align: center;">式</td> <td>1</td> <td>13-3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			施工歩掛コード		WB472390	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	コンクリートブレーカ		日		表 13.1	空 気 圧 縮 機		"		"	片持架設用移動作業車		"		"	片持架設用移動作業車 改 造 費		台	持込み台数	"	場所打桁架設工具		日		"	チェーンブロック	5t吊	"		"	主桁製作用雑器具		"		"	緊張ジャッキ・ポンプ		"		"	グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ		"		"	発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA	"		" 必要に応じて計上	諸 雑 費		式	1	13-3	計					記載の修正
		施工歩掛コード		WB472390																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
コンクリートブレーカ		日		表 13.1																																																																																																																																																
空 気 圧 縮 機		"		"																																																																																																																																																
片持架設用移動作業車		"		"																																																																																																																																																
片持架設用移動作業車 改 造 費		台	持込み台数	"																																																																																																																																																
場所打桁架設工具		日		"																																																																																																																																																
チェーンブロック	5t吊	"		"																																																																																																																																																
主桁製作用雑器具		"		"																																																																																																																																																
緊張ジャッキ・ポンプ		"		"																																																																																																																																																
グラウトミキサ・ポンプ		"		"																																																																																																																																																
ウ イ ン チ		"		"																																																																																																																																																
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA	"		" 必要に応じて計上																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1	13-3																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
		施工歩掛コード		WB472390																																																																																																																																																
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																
コンクリートブレーカ		日		表 13.1																																																																																																																																																
空 気 圧 縮 機		"		"																																																																																																																																																
片持架設用移動作業車		"		"																																																																																																																																																
片持架設用移動作業車 改 造 費		台	持込み台数	"																																																																																																																																																
場所打桁架設工具		日		"																																																																																																																																																
チェーンブロック	5t吊	"		"																																																																																																																																																
主桁製作用雑器具		"		"																																																																																																																																																
緊張ジャッキ・ポンプ		"		"																																																																																																																																																
グラウトミキサ・ポンプ・ウインチ		"		"																																																																																																																																																
発 動 発 電 機	排出ガス対策型 (第1次基準値) 37/45kVA	"		" 必要に応じて計上																																																																																																																																																
諸 雑 費		式	1	13-3																																																																																																																																																
計																																																																																																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 4/5																																																																																																																																																	

改正理由	一部改正	改 正 現 行	
------	------	------------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

(28) 機械器具損料

施工歩掛コード	WB472390		施工単位	式											
施工区分	入 力 条 件														
各 種	J1	J2	J3	J4	J5	J6	J7	J8	J9	J10	J11	J12	J13	J14	J15
	使用するケーブルシステム (表15・15)	同時に施工する作業車台数 ①2台 ②4台	PC鋼棒の種類 (表15・16)	PC鋼棒の種類数 ①3種類 ②2種類	柱頭部仮支承工 ①無 ②有	作業車クライミング工 ①無 ②有	機械器具供用日数(A) (実数入力)	場所打桁架設工具供用日数(B) (実数入力)	場所打桁架設工具供用日数(C) (実数入力)	仮支承撤去日数(D) (実数入力)	縦締緊張ジャッキ規格 (表15・17)	横締緊張ジャッキ規格 (表15・18)	横・鉛直斜締緊張ジャッキ規格 (表15・19)	鉛直斜締緊張ジャッキ規格 (表15・20)	使用電源 (表15・21)

- (注) 1. J1条件で①を選択した場合 J4, J11 ~ J14 は入力する必要はない。
 2. J1条件で②を選択した場合 J3 は入力する必要はない。
 3. J4条件で①を選択した場合 J13 は入力する必要はない。
 4. J4条件で②を選択した場合 J12, J14 は入力する必要はない。

(28) 機械器具損料

施工歩掛コード	WB472390		施工単位	式												
施工区分	入 力 条 件															
各 種	J1	J2	J3	J4	J5	J6	J7	J8	J9	J10	J11	J12	J13	J14	J15	J16
	使用するケーブルシステム (表15・15)	同時に施工する作業車台数 ①2台 ②4台	PC鋼棒の種類 (表15・16)	PC鋼棒の種類数 ①3種類 ②2種類	柱頭部仮支承工 ①無 ②有	作業車クライミング工 ①無 ②有	機械器具供用日数(A) (実数入力)	PC工用機器供用日数(A) (実数入力)	作業車延供用日数(B) (実数入力)	場所打桁架設工具供用日数(C) (実数入力)	仮支承撤去日数(D) (実数入力)	縦締緊張ジャッキ規格 (表15・17)	横締緊張ジャッキ規格 (表15・18)	横・鉛直斜締緊張ジャッキ規格 (表15・19)	鉛直斜締緊張ジャッキ規格 (表15・20)	使用電源 (表15・21)

- (注) 1. J1条件で①を選択した場合 J4, J12 ~ J15 は入力する必要はない。
 2. J1条件で②を選択した場合 J3 は入力する必要はない。
 3. J4条件で①を選択した場合 J14 は入力する必要はない。
 4. J4条件で②を選択した場合 J13, J15 は入力する必要はない。

記載の修正



積算上の注意事項			(控え頁) 5/5
----------	--	--	--------------